

『H27ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト』から生まれた世羅町応援イベント

第1回 世羅の美味しいものを食べる会

の開催について

【日時:平成28年5月14日(土)18:00~21:00 場所:東京都江東区木場】

県では、中山間地域に若い世代を呼び込み、課題解決に取り組む『ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト』を平成27年度にスタートしました。

このプロジェクトは、首都圏の若者43名が、東京でのグループワークや広島での現地実習を経て、市町別に6チームに分かれて、約半年間にわたり活動しました。

世羅町のチームは、東京と世羅を《食のTASUKIで繋いでいく》ことを提案。第1弾の取組として、5月14日(土)に東京都内で、世羅町の生産者とSkypeでつなぎながら、世羅町の食材を使った食事会を開催します！

また、世羅高原カメラ女子旅(<http://seracamera.jp/hazimeni/>)とコラボした世羅の花々の写真パネルの展示や世羅産米を使ったおにぎりワークショップ、世羅町出身の三好亮太さん(都内在住)の三味線ライブなども開催し、首都圏の人達に、世羅町の魅力を楽しんでもらいます。

是非、貴メディアでのご取材やご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます。

取材申込みは下記開催場所のオーナーの新井さんまでお願いします。

現地交流会



現地実習

【開催概要】

■ 日 時	平成28年5月14日(土) 18:00~21:00
■ 場 所	Wine & Bar a ^{me} (a-me・アーム) (東京都江東区木場 5-2-2 7F 電話 03-5639-1154) ※受講生の新井 正(あらい ただし)さんが経営するお店です。
■ 参加者	関東在住者 35名程度
■ 会 費	4,320円(学生3,000円)
■ 主なプログラム	1) 世羅高原カメラ女子の写真パネルや世羅産食材の紹介 2) 乾杯 3) 道の駅世羅(生産者)とのSkype交流 4) 世羅産米を使ったおにぎりワークショップ 5) 世羅出身の三好亮太さんの三味線ライブ ※ 世羅産お米のお土産あり

ポイント！

世羅の美味しいものを食べる会

お米にもこだわりました！

- 第1回世羅の美味しいものを食べる会では、世羅町で農業を営まれている内海哲平さんからお米を提供していただくことになりました。そのお米の名前は「西神崎観音米」！世羅町のブランド米です。昼夜の寒暖差が大きく、米作りに適している世羅台地で、新鮮な空気ときれいな水に育まれた減農薬・有機肥料米「西神崎観音米」は、おいしさと安心を追求した生産者の方の賜物です。

【内海哲平さんの紹介】

1979年、世羅町西神崎に生まれる。愛称はシャリボーイ。

2013年、広島県世羅郡世羅町西神崎好きな3人で、TOUMI FACTORY(トウミファクトリー)を設立。農業の傍ら、西神崎のお米のことや地域のことを知ってもらうための活動「田んぼの学校」を主催。せらマルシェや近隣地域で開催されているイベント等への出店も行っている。

世羅の美味しいものを食べる会

津軽三味線生演奏が聴けます！

- 第1回世羅の美味しいものを食べる会にて、世羅出身の三好亮太さん(都内在住の学生)とご友人が、津軽三味線の生演奏を披露してくれます！

【三好亮太さんの紹介】

1994年、世羅町甲山に生まれる。

廿(はつか)えびすの三味線を聴き、三味線を始める。

明治大学進学を機に上京し、津軽三味線サークル「響」を創設。初代幹事長に就任。

早稲田津軽三味線サークルにも所属し、団体戦にて全国大会優勝、世界大会4位入賞を果たす。広島を愛し、地元でも積極的に演奏を行う。

(三好さんからひと言)

- ◎ 今の自分があるのは、地元世羅のおかげです。自分ができることで地元を元気にします。三味線の音色で盛り上げられるように精一杯演奏頑張ります。地元ならではの曲も演奏します♪

「チーム TASUKI」とは？

※ イベント情報をフェイスブックで発信中 「広島県世羅町と東京をつなぐ【チーム tasuki-タスキ】」で検索！

ワークショップで世羅について話をしていたら、みんな自然と同じイメージを持っていました。それは、「世羅にはいいもの(魅力)がたくさんあるのに、それがうまく伝わっていない現状でした。そこで浮かび上がったのが、チームコンセプトとなる「TASUKI(タスキ)」という言葉でした。もちろん、世羅町の有名な駅伝に掛けた言葉ですが、駅伝でランナーが次のランナーにタスキをつなぎ、一つの大きなゴールに向かうように、世羅町の外から入る自分たちができることは、町に点在する魅力をつなげて、つなげて、関わるみんなのココロをつないで、つないで、つないでいくこと。そして、外から見ても、内から見ても魅力にあふれてたまらない世羅にしたい。世羅と東京を(見えない)タスキでつないでいきたい。そうした思いが「TASUKI」には込められています。

『ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト』の概要

広島県内には、全国に比べて集落の小規模化や高齢化が大きく進んでおり、県内 23 市町のうち 19 市町が中山間地域となっています。基幹産業の農林水産業の担い手不足、空き家や耕作放棄地の増加等の課題を抱える中、地域の人と一緒に課題解決に取り組みたい首都圏の若者を集めた『ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト』を平成 27 年度に立ち上げました。

平成 27 年度の実施内容

1 参画市町の課題・テーマ

- ▶ 府中市 **救!** 空き店舗活用の匠
- ▶ 三次市 **救!** まちづくりプランナー
- ▶ 安芸太田町 **救!** 地域の宝と人をつなぐプロデューサー
- ▶ 大崎上島町 **救!** 島の営業マン
- ▶ 世羅町 **救!** 農業ビジネスの仕掛人
- ▶ 神石高原町 **救!** 首都圏との暮らしの架け橋



2 参加者及び受入市町の状況

- 参加申込 43名
 - 受入市町 6市町（府中市、三次市、安芸太田町、大崎上島町、世羅町、神石高原町）
- 《市町別参加申込みの状況》

府中市	5名
三次市	4名
安芸太田町	11名
大崎上島町	10名
世羅町	7名
神石高原町	6名
合計	43名

男女別 男性 30人, 女性 13人
年代別 20代以下11名 (26%)
 30代15名 (35%)
 40代11名 (26%)
 50代以上6名 (13%)
居住地 東京都 32人, 神奈川県 11人

(主な職種等)
 会社員, 会社経営者, デザイナー, 建築士,
 ディレクター, レストラン経営者, 大学生等

3 事業のスケジュール

